

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

エゼキエル 47:1 彼は私を神殿の入口に連れ戻した。見ると、水が神殿の敷居の下から東のほうへと流れ出ていた。神殿が東に向いていたからである。その水は祭壇の南、宮の右側の下から流れていた。

47:2 ついで、彼は私を北の門から連れ出し、外を回らせ、東向きの外の門に行かせた。見ると、水は右側から流れ出ていた。

47:3 その人は手に測りなわを持って東へ出て行き、一千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

47:4 彼がさらに一千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水はひざに達した。彼がさらに一千キュビトを測り、私を渡らせると、水は腰に達した。

47:5 彼がさらに一千キュビトを測ると、渡ることのできない川となった。水かさは増し、泳げるほどの水となり、渡ることのできない川となった。

47:6 彼は私に、「人の子よ。あなたはこれを見たか」と言ってく、私を川の岸に沿って連れ帰った。

47:7 私が帰って来て見ると、川の両岸に非常に多くの木があった。

47:8 彼は私に言った。「この水は東の地域に流れ、アラバに下り、海に入る。海に注ぎ込むとその水は良くなる。

47:9 この川が流れて行く所はどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入る所では、すべてのものが生きる。

47:10 漁師たちはそのほとりに住みつき、エン・ゲディからエン・エグライムまで網を引く場所となる。その魚は大海の魚のように種類も数も非常に多くなる。

47:11 しかし、その沢と沼とはその水が良くならないで、塩のままに残る。

47:12 川のほとり、その両岸には、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。

Eze47:1 Then he brought me back to the door of the temple; and there was water, flowing from under the threshold of the temple toward the east, for the front of the temple faced east; the water was flowing from under the right side of the temple, south of the altar.

47:2 He brought me out by way of the north gate, and led me around on the outside to the outer gateway that faces east; and there was water, running out on the right side.

47:3 And when the man went out to the east with the line in his hand, he measured one thousand cubits, and he brought me through the waters; the water came up to my ankles.

47:4 Again he measured one thousand and brought me through the waters; the water came up to my knees. Again he measured one thousand and brought me through; the water came up to my waist.

47:5 Again he measured one thousand, and it was a river that I could not cross; for the water was too deep, water in which one must swim, a river that could not be crossed.

47:6 He said to me, "Son of man, have you seen this?" Then he brought me and returned me to the bank of the river.

47:7 When I returned, there, along the bank of the river, were very many trees on one side and the other.

47:8 Then he said to me: "This water flows toward the eastern region, goes down into the valley, and enters the sea. When it reaches the sea, its waters are healed.

47:9 "And it shall be that every living thing that moves, wherever the rivers go, will live. There will be a very great multitude of fish, because these waters go there; for they will be healed, and everything will live wherever the river goes.

47:10 "It shall be that fishermen will stand by it from En Gedi to En Eglaim; they will be places for spreading their nets. Their fish will be of the same kinds as the fish of the Great Sea, exceedingly many.

47:11 "But its swamps and marshes will not be healed; they will be given over to salt.

47:12 "Along the bank of the river, on this side and that, will grow all kinds of trees used for food; their leaves will not wither, and their fruit will not fail. They will bear fruit every month, because their water flows from the sanctuary. Their fruit will be for food, and their leaves for medicine."

「聖所から流れ出た水。」エゼキエル47章1～12節

「祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。『だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおりに、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。』」(ヨハネ7・37.38)。私は、この箇所を読む度に涙が出るほど感動します。

仮庵の祭りは、イスラエルの民が奴隷であったエジプトから逃れ荒野を旅して肥沃なカナンに辿り着いたことを記念する為に、人々は仮の庵を作って7日間住む祭りであり、収穫感謝祭でもありました。「最初の日に、あなたがたは自分たちのために、美しい木の実、なつめやしの葉と茂り合った木の太枝、また川縁の柳を取り、七日間、あなたがたの神、主の前で喜ぶ。」(レビ23・40)。祭りとして喜んでいる人々の中に、「渴いている」人がいることをイエス様は知っており、大声で叫び呼び掛けたのです。

この世の繁栄の中で浮かれ騒いでいる人々の中で、魂の飢え渴きを覚え悩み苦しんでいる人々に対して、私も同じように大声で叫びたいのです。自らがこの世の虚しさや驕り高ぶりに絶望して、神を求めた日々を今でも忘れることはできません。私は、このイエス様の呼びかけに応じて魂の救いを得たのです。

コロナワクチンの害もまとめ上げました。今週には公表します。どうも日本の研究機関もその害を確認しているようですが、極秘にしています。多くの命の危機に関して、沈黙を通して組織や人々に呆れ果てます。彼らは自らの繁栄と享樂の為に、多くの犠牲を強いるのです。

また、繁栄の中で浮かれ、イエス・キリストの呼びかけに応じない人々は、終わりの日に裁かれることとなります。多くの人は言います。「イエス・キリストが神だなんて知らなかった。」「自分は誠実に生きていた。」「私は神に罰を受けるようなことをしていない。」「しかし、裁きの時に、人の人生はすべて吟味されます。櫻井先生は、その吟味は他の人々によってされると語られました。罪なき人はいないのです。」

「わたしを信じる者」は、自らの罪を認め苦しみ、あがき渴いている人です。私も、神なき人生に絶望しておりました。「わたしのもとに来て飲みなさい。」の呼び掛けに応じたのです。罪を一般的な罪と捉える人が多くおられます。しかし、飢え乾く者は、魂を拘束する「数々の罪の欲情が私たちのからだの中に働いていて、死のために実を結びました。」(ローマ7・5)に苦しんでいるのです。救われていない人は、この罪の法則に無頓着なのです。

「わたしを信じる者は、聖書が言っているとおりに、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」なんということでしよう。神を信じて生きるということは、「神を知っている。」「信仰生活を送っている。」「教会に来ていいる。」などということではなくて、「心の奥底から、生ける水の川が流れ出る」ことなのです。

今日の聖句は御使いがエゼキエルに見せたまぼろしです。神殿からチヨロチヨロと流れ出た水は、次第に水かさを増して、千キュビト(440m)で足首まで、さらに440mで膝まで、更に440mで腰まで、更に440mで泳げる程の水量になり、川となり、両岸には多くの木が生えて「あらゆる果樹が生え、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。」

「イエスはご自分のからだの神殿」(ヨハネ2・21)から流れ出た水が信じる者の「心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」として信じる者が増えるほどに水量が増えていくのです。例えば、私たち夫婦が誰も信者のいない千葉の地で伝道を始めて、今多くの人の心から「生ける水の川が流れ出る」ようになって水量が増えたのです。

アラバの海とは死海のことです。そこは魚も何も住めない死の海です。実際に死海が浄化されて「生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。」かどうかはわかりませんが、死んだような社会にいのちがもたらされるといふ例えです。死んだような日本社会に、「この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入る所では、すべてのものが生きる。」ということが私たちの願いです。「私たちの日本は死んでない。」という人もいます。しかし、人の目を気にし、自主規制がまかり通り、どのように生きるかを理解していないことを「死んだような」社会と思われないならば、自由を獲得する為に飢え乾いてはいないと言わざるを得ないのです。

そのような社会にコロナウイルスと更にワクチン禍がいのちを脅かしています。今回の警告で私たち夫婦やクリニックが非難・攻撃されるかと思えます。既に、それを警告した教授は攻撃されています。しかし、大声で呼び掛けなければならぬと考えています。お祈り下さい。